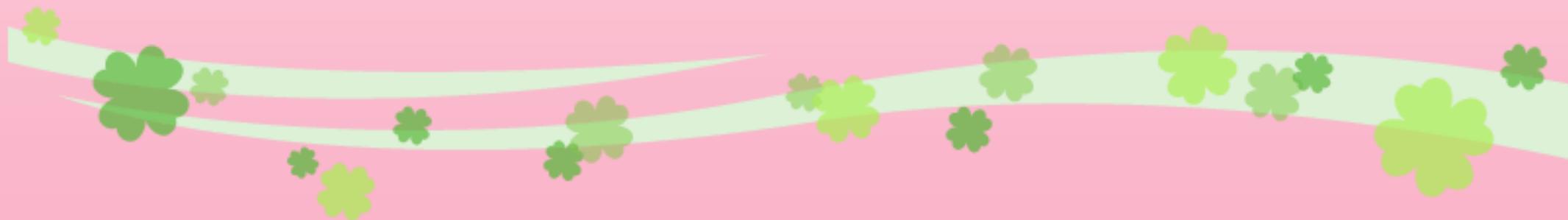


楽しい母乳育児 ～当院での取り組み～

総合周産期母子医療センター 産科病棟





当院は、2008年8月、ユニセフより
「赤ちゃんにやさしい病院」
Baby Friendly Hospital (BFH)
に認定されました。

2019年現在、日本国内では66施設
が認定を受けています。

四国では2施設
愛媛県では唯一の認定施設です！

BFH (Baby Friendly Hospital)

1989年3月 WHO・ユニセフは、
世界のすべての国のすべての産科施設に対して

「一人でも多くの母と子に母乳で育てられる幸せを」
ということを目標とし、母乳育児成功のための基準として

「母乳育児成功のための10カ条」

を守ることを呼びかけました。



そして

「母乳育児を成功させるための10カ条」

を長期にわたって遵守し、
実践する産科施設を

「赤ちゃんにやさしい病院」

として認定することになりました。

「母乳育児を成功させるための10カ条」

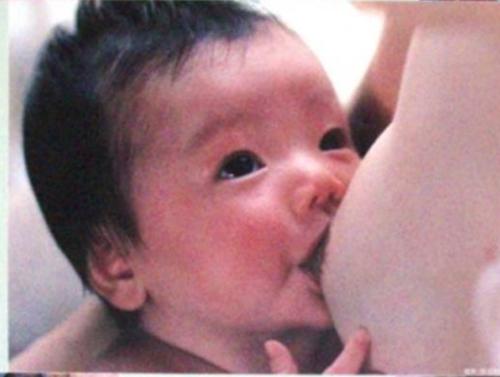
この10カ条は、お母さんが赤ちゃんを母乳で育てられるように、産科施設とそこで働く職員が実行すべきことを具体的に示したものです。



1. 母乳育児推進の方針を文書にして、すべての関係職員がいつでも確認できるようにしましょう。
2. この方針を実施するために必要な知識と技術をすべての関係職員に指導しましょう。



3. すべての妊婦さんに母乳で育てる利点とその方法を教えましょう。
4. お母さんを助けて、分娩後30分以内に赤ちゃんに母乳をあげられるようにしましょう。



5. 母乳の飲ませ方をお母さんに実際に指導しましょう。また、もし赤ちゃんをお母さんから離して収容しなければならぬ場合にも、お母さんに母乳の分泌維持の方法を教えましょう。



6. 医学的に必要でない限り、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。
7. お母さんと赤ちゃんが一緒にいられるように、終日、母子同室を実施しましょう。



8. 赤ちゃんが飲しがらむときは、いつでもお母さんが母乳を飲ませてあげられるようにしましょう。
9. 母乳で育てている赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう。



10. 母乳で育てるお母さんのための支援グループ作りを助け、お母さんが退院するときにこれらのグループを紹介しましょう。



ユニセフ(国連児童基金)とWHO(世界保健機関)は、1989年に「母乳育児の保護、促進、そして支援—産科施設の特別な役割」と題する共同声明を発表し、世界のすべての産科施設に対して「母乳育児を成功させるための10カ条」を守るよう呼びかけた。また、1991年には、「10カ条」を完全に実施する産科施設を「赤ちゃんにやさしい病院」に認定する制度を設けた。この制度は、世界のすべてのお母さんを助けて赤ちゃんを母乳で育てられるようにすることによって、すべての赤ちゃんに等しく最高の人生のスタートをいかにユニセフとWHOの願いを表している。



主催 ユニセフ(国連児童基金) WHO(世界保健機関) 後援 厚生省 日本医師会

高い母乳率を保つために、当院では
どのようなことが行われているのでしょうか？

母乳育児成功のための10カ条と
照らし合わせながら
当院の実際の取り組みについて
覗いてみましょう🔭



当院の取り組みについて

母乳育児の方針を文章にして、お母さん・家族がいつでも見れるようにしています。

てっくてくのP1を開けてみましょう



当院における母乳育児支援の方針

UNICEF/WHO「母乳育児を成功させるための10か条」を目指しケアを行います。

1. 妊娠中から母乳育児の支援を行います。

- 1) 母乳育児の利点・方法について情報を提供します。
- 2) 個々に応じた乳房・乳頭の手入れ方法を説明します。

2. 出産後に早期皮膚接触を行い、早期授乳開始に努めます。

- 1) 正常産では産後から母子の肌と肌の直接接触を行い、産後30分以内に授乳を開始します。
- 2) 帝王切開の場合は、保育室からでて30分以内に授乳を開始します。



4. 赤ちゃんの状態に沿った医療・支援を行います。

- 1) 毎日、新生児科医師もしくは産科医師が赤ちゃんの診察を行います。
- 2) 母乳育児を安心して行えるよう医師が赤ちゃんについて相談を受けます。
- 3) 新生児科医師・産科医師が医学的に必要だと判断した場合に限り、母乳以外の栄養や水分を与えます。
- 4) 母乳代用品・人工乳首の使用に関して宣伝や集団指導を禁止し、母乳育児を保護します。



総合周産期母子医療センター



3. 産後入院中のお母様へ母乳育児を支援します。

- 1) 出産直後から、終日母子同床ができるよう支援します。
- 2) 帝王切開後も、児が保育室から出てから終日母子同床ができるよう支援します。
- 3) 個々に応じたケアを行います。
- 4) 母子分離が避けられない場合は、母乳分泌を促し維持できるよう支援します。
- 5) 早産児や低出生体重児などで入院になった場合にも母乳育児支援を行います。



5. 退院に向けて支援を行います。

- 1) 担当スタッフが、退院に向け母乳育児がスムーズに行えるように支援します。

6. 退院後の母乳育児支援を行います。

- 1) 退院後、担当スタッフが電話訪問を行います。
- 2) 24時間、電話相談を行います。
- 3) 母乳育児支援外来で、卒乳までの支援を行います。
- 4) 2週間フォローアップで新生児科医師診察・体重測定・母乳育児相談を行います。
- 5) 1か月健診時必要に応じて、助産師が母乳育児相談を行います。
- 6) 母乳育児サークル「おっぱいばいの会」のサポートをしています。
- 7) 希望があれば、地域の保健師にご紹介します。

- (1) 妊娠中からすべての妊婦さん・家族に対し
母乳育児の重要性と方法について
お話をしています。



外来での助産師保健指導で
妊娠中に行う乳管開通操作の方法や
母乳育児のメリットについてお話しています。



- (2) 出生直後から、途切れることのない
早期母子接触をすすめ、
出生後30分以内に母乳が
飲ませられるように支援しています。

早期皮膚接触とは…

お母さんが赤ちゃんを裸のまま胸の上で抱っこすること
です。

赤ちゃんは生まれてすぐにお母さんの胸に抱いて密着させることで体温、においや感触、心臓の鼓動を感じ合うことで、自律神経が落ち着き絆が深まるといわれています。

生まれたばかりの赤ちゃんは、しばらくするとおっぱいを探しはじめ、初めてのおっぱいをもらいます。

当院では、赤ちゃんとお母さんの安全に十分配慮しながら実施しています。



(3) お母さんと赤ちゃんを一緒にいられるようにして、 24時間母子同室をしています。

赤ちゃんの欲しがるサインを
お母さんがわかり、対応できるように
授乳の支援をしています。

母子同室をするなかで、分から
ないこと、困ったことなどあれ
ばすぐに解決できるように支援
しています。

早産などで赤ちゃんがNICUに入
院してしまい、直接授乳が出来
ない際にも、出産後すぐから
乳頭刺激を行い3時間毎の搾乳
を行っています。



母児同室により応じることが出来る「自
律授乳」が可能になります。
そして、赤ちゃんが飲みたいときに授乳
を行うことで、
1~2時間毎に授乳することとなり、母乳
の増加にもつながります。

お母さんが母乳育児を始め、
続けるために、
どんな小さな問題でも
対応できるように支援しています。

母乳の分泌を促すために、まずは**お母さんの循環をよくする**必要があります。そこで、**フットバス**や、リラックス効果のあるアロマオイルを使用した**バックケア**を、入院中に実施しています。



母乳の分泌は、赤ちゃんが頻回に吸う刺激によって増えていきます。

糖水やミルクを飲むと、赤ちゃんはお腹がいっぱいになって母乳を飲みません。

また、授乳の回数が減ることで、乳頭への刺激が減り、母乳が増えなくなってしまうます。

そのため、

- (4) **医学的に必要がない限り、母乳以外の水分、糖水、人工乳は与えていません。**



哺乳びんや人工乳首、
おしゃぶりを使うことの弊害に
ついてお母さんと話し合い、
カップやスプーンを使っています。

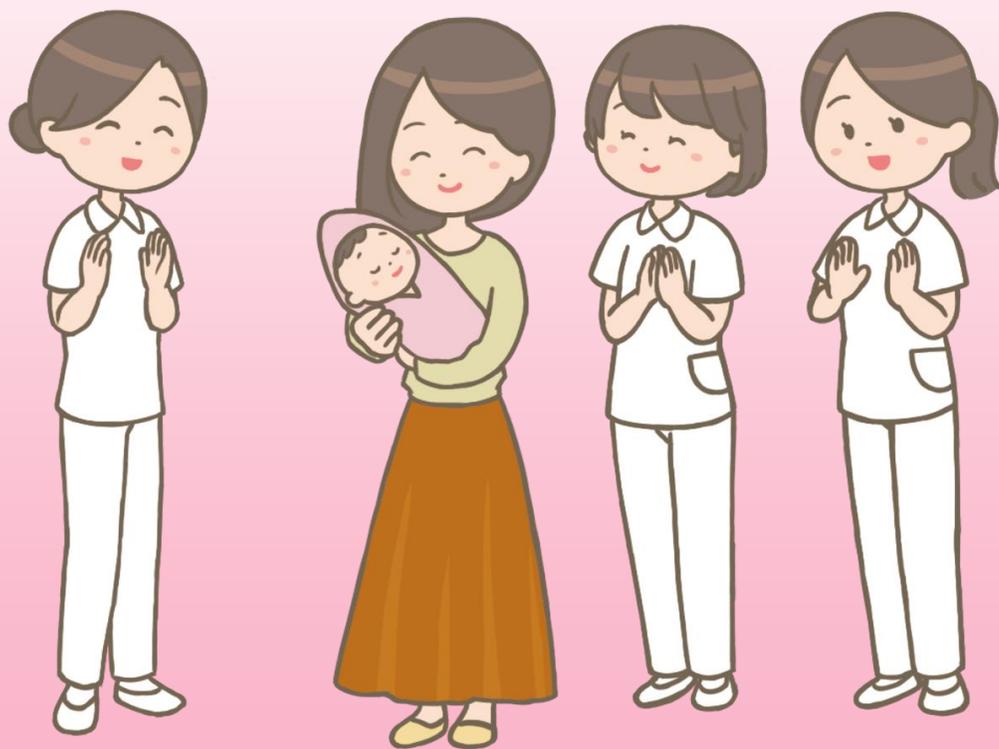


医学的に補足が必要と
判断された赤ちゃんに対して
ミルク補足を行う場合
哺乳瓶を使用することで起こる
乳頭混乱を避けるため
写真にあるような
フィーディングカップを
使用した補足を行っています。

そして母乳で育てられている
赤ちゃんに、できるだけ
人工乳首やおしゃぶりを
与えないように努めています。

(5) 退院時には、両親と赤ちゃんが
継続的な支援をいつでも
利用できることを伝えています。

受け持ちスタッフと退院後の育児について一緒に話し合います。
退院後には、受け持ちスタッフが電話訪問をします。



(6)退院後も母乳育児支援を行います



- 電話訪問
- 母乳育児支援外来
- 2週間健診、1か月健診

など

退院してからも、
母乳が足りているのか、
赤ちゃんの体重は増えているのか、
と様々な事が心配になります。

そのため、退院後は不安の解消や
退院後の母乳育児確立に向け
継続した支援が行えるよう
電話訪問や2週間健診、1ヶ月健診を
実施しています。

2週間健診や1か月健診では
新生児科医師の診察や
臨床心理士さんの精神的な援助も増え、
安心して育児を行なえる環境に
努めています。

母乳育児支援外来について

2階産婦人科外来にて助産師が行っています。
乳房トラブルがあった場合は
母乳育児支援外来にきていただき
退院後の母乳育児も支援しています。
授乳指導だけでなく育児相談もできます。

みなさんも私たちと一緒に
楽しい母乳育児を
行いましょう😊♡

